

治療審査委員会申請書類

患者ID :

患者氏名				生年月日				年齢				性別			
診療科				区分	☐ 階病棟 ☐ 外来			申請医師名							
診断名								Stage				Performance Status			
告知内容															
治療方法	プロトコール名 dose-dense AC followed by dose-dense PTX療法							告知Grade							
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積				m ²		
	血清クレアチニン				ml/dl		Cockcroft-Gault				性別無し ml/min				
													※女性には0.85を掛けています		
	◎適応:再発高リスクに対する術前補助・術後補助														
	《dose-dense AC療法 × 4コース》 ⇒ 《dose-densePTX療法 × 4コース》														
	ドキソルビシン _____ mg(標準量60mg/m ²) d1							PTX _____ mg(標準量175mg/m ²) d1							
	エンドキサン _____ mg(標準量600mg/m ²) d1							インターバル2週							
	インターバル2週														
	※Day2~4(範囲内で変更可能) ヘグフィルグラスチム皮下注3.6mg(抗がん薬投与終了24hr以上経過後に投与)														
	■dose-denseAC療法														
① ハロ/セロン点滴静注バック0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキサート6.6mg [1.5V] 120ml/hr															
② 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)															
③ ドキソルビシン _____ mg + 生食50ml 200ml/hr(15分で) 側管															
④ エンドキサン _____ mg + 生食100ml 200ml/hr 側管															
Day2~4 ヘグフィルグラスチム皮下注3.6m(エンドキサン投与終了後24時間以上経過した後に投与する)															
内服薬 オランザピンOD錠2.5mg 1回2錠 1日1回 夕食後 4日分(治療当日から4日間服用)															
＜DXR:肝機能低下症例に対する減量の目安＞															
T-Bil(mg/dl) AST(IU/L) 投与量															
1.2~3.0 または 60~180 50%減量															
3.1~5.0 または > 180 75%減量															
>5.0 中止															
＜CPA:腎障害時の減量基準＞															
GFR <10															
(ml/min) 25%減量															
■dose-densePTX療法															
① 生食100ml + デキサート6.6mg 《3V》 + ファモチジン注20mg 1A 200ml/hr															
② レスタミンコーワ錠 5錠(50mg) 内服 《①と同時に》 ※備考欄															
③ 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)															
④ パクリタキセル _____ mg + 5%糖液500ml 3hrペースで投与															
Day2~4 ヘグフィルグラスチム皮下注3.6mg(パクリタキセル投与終了後24時間以上経過した後に投与する)															
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日															
終了予定 _____ 年 _____ 月 _____ 日															
併用薬の確認	DXR治療以前の治療歴を含め、アントサイクリン系薬剤の総投与量をチェックする。														
B型肝炎check	HBs抗原() ⇒ HBc抗体 () , HBs抗体() ⇒ HBV核酸定量 0.9L IU/ml ()														
予測される副作用	骨髄機能抑制、心筋障害等の重篤な副作用が起こることがあるので、頻回に臨床検査(血液検査、肝機能・腎機能検査、心機能検査等)を行うなど患者の状態を十分に観察すること。 間質性肺炎が現れることがあるので、咳嗽、呼吸困難、発熱等の臨床症状を十分に観察し、異常が認められた場合には、胸部X線、胸部CT等の検査を実施すること。間質性肺炎が疑われた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。その他、肝機能障害、黄疸、膵炎、急性腎障害など。														
備考	※レスタミン 緑内障、禁忌[抗コリン作用による悪化の為] ⇒ オロパタジン錠5mg PTX:0.22 μm以下のフィルター使用、アルコール不耐患者は投与不可、自動車運転等危険を伴う機械操作は禁止 催吐性リスク;AC(高度)→PTX(軽度) 組織侵襲に基づく分類:ドキソルビシン(壊死性)、エンドキサン(炎症性)、パクリタキセル(壊死性) ・オランザピンは糖尿病患者に禁忌です 作用点が重複するため、D2受容体拮抗薬(プリンペラン、ドンペリドン等)との併用は避ける。 主な有害事象は眠気のため、睡眠薬との併用や夜間転倒に十分注意する。														
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可														

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日